

# TRX-M845

## 使用説明書

平成29年6月1日 第1.1版

真空管のヒーターの明るさが違うものがありますが性能には影響ありません



## TRIODE

### 株式会社 トライオード

〒343-0032 埼玉県越谷市袋山609-3

TEL : 048-940-3852

FAX : 048-940-3853

Eメール : [service@triode.co.jp](mailto:service@triode.co.jp)

不明点やご質問は当社ユーザーサポート係宛、下記時間内にお問合せ下さい  
ユーザーサポート受付時間： 月曜～金曜 TEL 10:00～16:00

## 御注意（感電について）

このアンプは高電圧（直流1000V）を使用するため、感電されないよう細心の注意が必要です。なお内部接触による人体の損傷や火傷などの責任は負えませんので絶対に裏蓋を開けないでください。予め御了承ください。

## 注意事項

万一次の様な異常が起きたら次の指示に従ってください。

- ・煙が出たり変なにおいがする。
  - ・機器の内部に異物や水が入った。
  - ・落としたりキャビネットを破損した。
- すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグを本体から抜いて下さい。異常状態のままお使いになると、火災・感電の原因になります。当社サービス担当に修理をご依頼下さい。

この機器は、日本国内のみの使用に限ります。表示された電源電圧（交流100V）以外の電圧で使用しないで下さい。指定以外の電圧や直流電源などに接続した場合、火災・感電の原因になります。

この機器の通風口をふさがないで下さい。通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。

この機器の通風口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり落としたりしないで下さい。火災・感電の原因となります。

電源コードを傷つけたり、電源コードの上に重い物を置いたり、電源コードが本機の下敷きにならないようにして下さい。電源コードに傷がついて火災・感電の原因になります。万一、電源コードが破損（芯線露出や断線など）したら、当社サービス担当まで御連絡下さい。

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に折り曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないで下さい。電源コードが破損すると火災・感電の原因になります。万一、電源コードが破損（芯線露出や断線など）したら、当社サービス担当まで御連絡下さい。

電源プラグの端子及び端子の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いて下さい。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

この機器の上に花瓶や水などの入った容器を置かないで下さい。内部に水が入ると火災・感電の原因になります。

この機器を改造しないで下さい。火災・感電の原因になります。

この機器を設置する場合は、放熱をよくするために、他の機器との間を離しておいて下さい。内部に熱がこもり、火災の原因になります。

※付属の電源コードは本機専用です。他の機器では使用出来ません。

## 御注意

電源を入れる場合は音量を最小にして下さい。  
突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

オーディオ機器等の機器を接続する場合は、各々の機器の取り扱い説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続して下さい。また、各接続は指定のコードを使用して下さい。

この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグに容易に手が届くようにして下さい。

次のような場所に置かないで下さい。火災、感電やけがなどの原因になることがあります。

- ・ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所
- ・湿気やほこりが多い場所
- ・調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる場所

電源コードを熱器具に近づけないで下さい。  
コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因となることがあります。

電源コードを抜くときは、電源コードを引っ張らないで下さい。  
コードが傷つき、火災や感電の原因になることがあります。  
必ずプラグを持って抜いて下さい。

濡れた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。  
感電の原因になることがあります。

本機を移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部との接続コードを外してから行って下さい。  
コードが傷つき、火災・感電の恐れがあります。

旅行などでこの機器を長期間御使用にならない場合は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いておいて下さい。

お手入れの際は安全のために電源プラグを電源コンセントから抜いて下さい。

## 保証について

本製品のパーツ交換を含む改造などをされた時点で保証の対象外となりますので御注意下さい。この場合の修理は全て実費とさせていただきます。

製品付属の真空管以外の真空管を使用された場合の故障は保証対象外とさせていただきます。  
真空管の電气的性能以外の印刷部分を含む外観上あるいは内部の構造等に関しては保証の対象外とさせていただきます。

トライオード純正以外の真空管交換によるアンプ本体および他の真空管、また接続された機器に与えた不具合に付きましては保証対象外とさせていただきます。

業務用など一般家庭用以外での使用による故障および損傷。

商品の不良・故障に起因する、商業上または資産上その他いかなる損害に対しても、損害賠償責任は負いかねますので御了承下さい。

本機は一般家庭用オーディオ機器として作られたものです。  
一般家庭用以外（たとえば飲食店等でのBGMなど営業用の長時間使用、車両、船舶への搭載使用、野外での使用など）に使用しないでください。  
一般家庭用以外での使用で故障した場合は、保証期間内でも有償修理とさせていただきます。

# 接続方法

- 1) 上部梱包箱を開梱しましたら片側に入っている真空管が入った段ボールを取り出します。上部クッションを上を外します。  
アンプに被っている布を外しアンプを引き上げますが55kgの重量がありますので2人以上で持ち上げてください。
- 2) 設置場所に設置しましたら真空管カバーを外します。2個の真空管カバーの両側持って左右のトランスにぶつけないように上部に引き上げます。  
同梱の真空管ダンボールを開梱して所定の位置に真空管を差し込みます。  
基本設定は845真空管設定ですので211の使用については後ほど説明します。真空管の装着方法ですが845(211)真空管はガイドピンを挿入して右側に回し止まるまで回します。外すときは左側に回し上に引き上げます。6SN7および12AU7真空管はソケットのピン位置をよく確認して差し込みます。  
もし装着が不安な場合は当社サービス(048-940-3852)までご連絡ください。
- 3) 入力ラインの接続

## RCAケーブルを使用する場合

プリアンプからのRCAケーブルをRCAターミナルに接続します。  
後部セレクタースイッチをRCA側に倒します。  
この切り替えスイッチは誤作動防止のため引き上げて切り替える方式です。無理に切り替えしないでください。  
\*プリアンプからのRCAケーブルはノイズを拾いやすいので1m以内のケーブルの使用をお勧めします。それ以上の長さのケーブルを使用する場合はバランスケーブルをお勧めします。

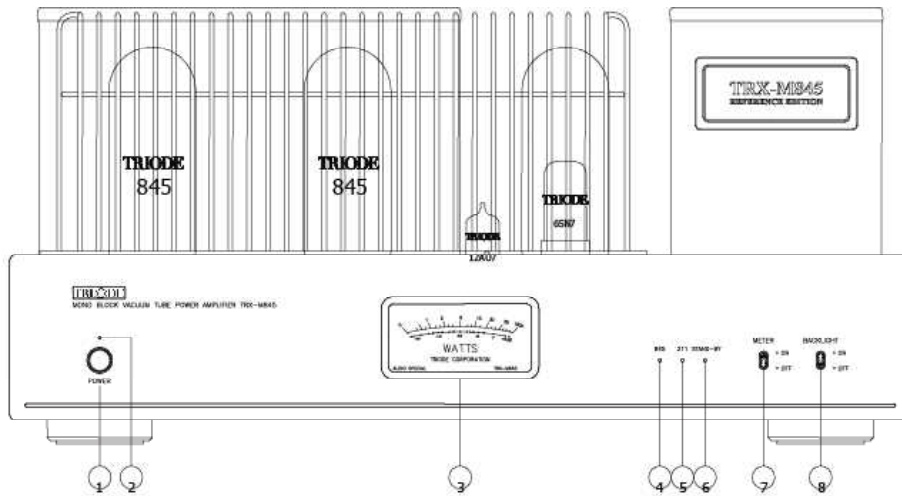
## バランス(XLR)ケーブルを使用する場合

バランス(XLR)ターミナルにプリアンプからのバランス(XLR)ケーブルを接続します。  
後部セレクタースイッチをXLR側に倒します。  
なおこの切り替えスイッチは誤作動防止のため引き上げて切り替える方式です。無理に切り替えしないでください。  
このアンプのXLR入力は極性の2番ホット、3番ホットの切り替えが可能です。使用するプリアンプに合わせて後部の切り替えスイッチで切り替えてください

- 4) 電源ケーブルを接続します。

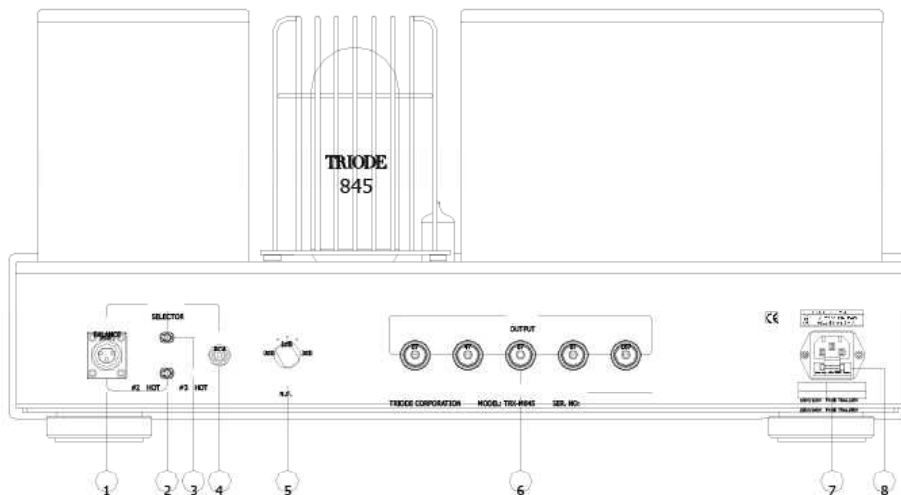
# 各部の機能について

## フロントパネル図



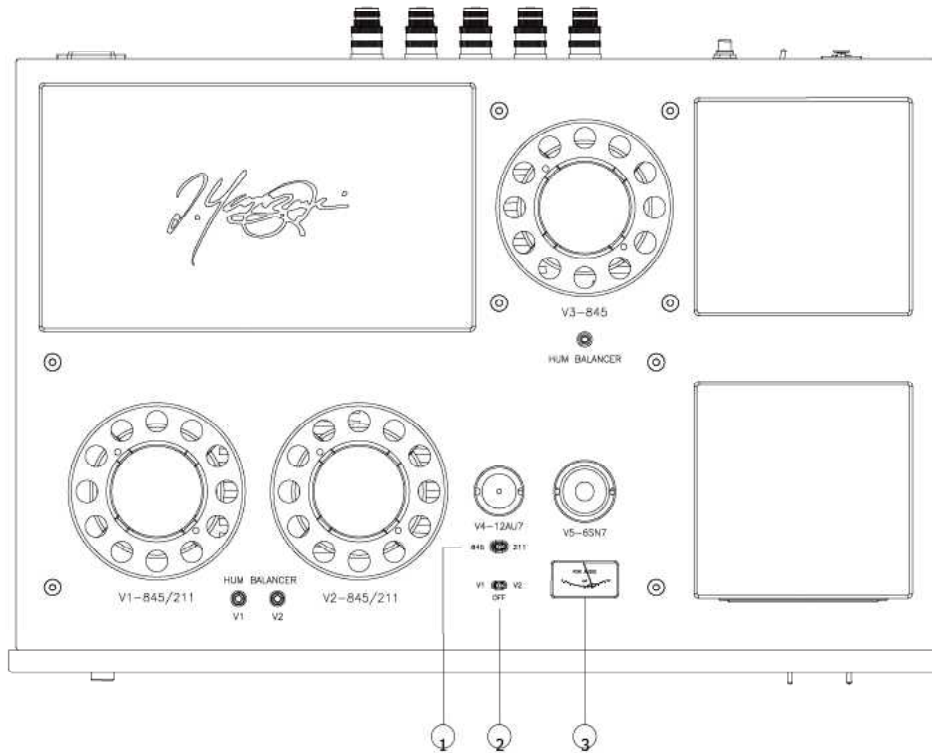
- |               |               |
|---------------|---------------|
| ① 電源スイッチ      | ②パイロットランプ     |
| ③ 出力メーター      | ④ 845 インジケーター |
| ⑤ 211 インジケーター | ⑥ スタンバイ       |
| ⑦ メーター作動スイッチ  | ⑧ メーターバックランプ  |

## リアーパネル図



- |              |             |
|--------------|-------------|
| ① XLR入力端子    | ②極性切り替えスイッチ |
| ③ 入力切り替えスイッチ | ④ RCA 入力端子  |
| ⑤ NFB可変スイッチ  | ⑥ 出力端子      |
| ⑦ ヒューズ       | ⑧ 電源ソケット    |

## 上面図



- ① 真空管切り替えスイッチ      ② バイアス確認スイッチ  
③ バイアスマーター

## 操作方法の補足

- 1) NFB切り替えスイッチ  
後部パネルにはNFB切り替えスイッチがあります。NFBを0、1、3dBに可変ができます。使用位置によって表現が変わりますので好みの位置で使用してください。
- 2) フロントパネルのメーターについて  
アンプの出力表示でフルスケール100Wです。このアンプは50W出力ですので概ね50W以内での使用をお勧めします。
- 3) スピーカー端子は4、6、8、16Ωですのでお使いのスピーカーに合わせて接続します。またバナナ側も固定式になっていますのでバナナ端子を挿入しましたら締め付けてください。
- 4) シャーシ上面の845/211切り替えスイッチ  
このスイッチは845と211の使用を切り替えるためのスイッチです。差し替えができるソケットは前方の2カ所V1とV2のみですのでV3には211真空管を挿入しないでください。  
この切り替えスイッチは必ず使用する真空管に合わせてください。このスイッチを使用する真空管側に倒します。この切り替えスイッチは誤作動防止のため引き上げて切り替える方式です。無理に切り替えないでください。  
**\*もし211真空管の位置で845を使用しますとオーバー電流になりトラブルが発生しますのでご注意ください。なおこの誤使用での機械の損傷は保証対象外ですのでお気をつけください\***

- 5) バイアス確認メーターおよびスイッチ  
このアンプは自己バイアス方式ですので調整はいりませんが動作状態を確認するためのメーターですので、スイッチをV1またはV2側に倒しメーターの黒い部分の範囲内であれば正常です。
- 6) シャーシ正面のハムバランスボリューム  
このボリュームは通常は調整の必要はありませんが古い真空管を使用する際には調整が必要になる場合があります。その際は当社サービスまでご連絡ください。

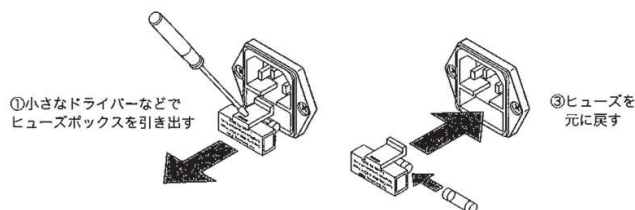
## TRX-M845仕様

この規格値は正常に動作している場合の値であり、真空管のバラツキなどの要因で変動するため保証値ではありません。なお1台の仕様です。

最大出力	: クラスA 845 / 50W 211 / 40W
SN比	: 90dB以上
歪率	: 0.1%以下
入力感度	: 0.9V
出力端子	: 4Ω、6Ω、8Ω、16Ω
周波数	: 15Hz ~ 50kHz -1dB
使用真空管	: 845×3本、12AU7×1本、6SN7×1本
消費電力	: 380W (定格電力)
付属品	: 特注電源コード、真空管ボンネット
サイズ	: W580mm×D440mm×H300mm
重量	: 58kg

## ヒューズ交換

AC電源ソケット内の下側のヒューズホルダーをマイナスドライバーで開けます。ヒューズはタイムラグ型250V8Aを使用して下さい。



## スペアパーツ

845真空管 (中国製)	1本	¥20,000 (税別)
211真空管 (中国製)	1本	¥20,000 (税別)
6SN7真空管 (中国製)	1本	¥2,800 (税別)
12AU7真空管 (中国製)	1本	¥2,800 (税別)